

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2014
平成26年

10.15

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
「蔵王山展望台リニューアルオープン」	
地引網体験	
今月の花「レイコのコレイいね」	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
私のあゆみ方	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
渥美郡三町の時代	12

光が奏でる眺望のハーモニー



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 広報サポーターだよりレインコノレイいね……………3ページ
- 地域の話(清田校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

蔵王山展望台リニューアルオープン!

皆さん、こんにちは。広報サポーターの浪崎季代美です。

リニューアルした蔵王山展望台は、昼は観光や環境学習ができ、夜はライトアップで幻想的な空間となっています。

今回は、新しい蔵王山展望台をご紹介します。



広報サポーター
浪崎季代美
(高松校区)

※田原市広報サポーターの部屋

● 田原市ホームページ

<http://www.city.tahara.aichi.jp/promotion/koho-supporter.html>



- ブログ
- ツイッター
- フェイスブック
始めました!

◆体験フロア(3階)

● 田原の四季を体験!

モーションングラフィック(コンピュータ上で作られる絵に動きや音を加え、映像にしたもの)で田原の四季を体験できます。壁面にはいちご・チューリップ・花火が、床にはスナメリ・菜の花が2分間隔で映し出され、手をかざすと、チューリップが咲いたり、花火が上がったり、人の動き



に合わせてスナメリが近づいて来たり、思わず時間が経つのも忘れて遊びに夢中になってしまいます。

● さわって探そう!

渥美半島ガイドマップ

テابل型体験装置があり、手を触れるとエコガーデシニティを指す田原市の取り組みについて学ぶことができます。また、サイクリングやトレッキングコースなど観光についての見どころが一目でわかるようになっています。



◆展望フロア(4階・星垂テラス(2階))

● 夜の展望台の楽しみ方

昼は、360度の大パノラマで景色を楽しむことができます。展望フロアは夜10時まで開館しており、ベアシートに座ってゆっくり夜景を楽しめます。展望台はライトアップが季節ごとに変化します。ライトアップは午後9時までですが、午後10時までは、星空



テラスやスロープに敷き詰められた蓄光石がまるで星空の上にいるような幻想的空間となります。

● AR観光マップで楽しもう

スマートフォンなどでアプリを起動し、ARマーカーにかざすと、観光スポットの名称や立体的な絵が浮かび上がります。それらを触ると、各所の詳しい情報を確認することができます。



投稿 大草小学校

**ふるさとの海の恵みに感謝!
地引網体験**

10月1日(水)、大草保育園と合同で地引網体験を行いました。これは、地元の網元さんたちや大草校区コミュニティ協議会に全面的な協力をいただき開催している行事です。過去2年は、波が高く開催できなかったのが、久しぶりの地引網に子どもたちは大喜びでした。好天に恵まれ、ふるさとの海を満喫した1日となりました。



富士見デッキ
キでは、運が
良ければ富士
山が望めま
す。蔵王山頂
と恋路ヶ浜に
ある幸せの鐘を2カ所とも鳴らせば願
いがかなう確率が上がるかも!?

●絶景カフェで絶品カフェ飯を
おしゃれカフェとしてさらなる進
化をした蔵王山パノ
ラマカフェは、田原産
の食材をふんだんに
使用したメニューが
楽しめます。「じゃあ、
ちよっと蔵王カフェ
に行こうか」と気軽に訪れて、ランチや
スイーツを景色を見ながら楽しむ人が



◆イントランスフロア(2階)
●富士見デッキで記念写真を撮ろう!

増えそうです。
▲アクセス

蔵王山への
アクセスは、
車ならふもと
から約10分、
徒歩なら権現
の森から歩き
やすい蔵王山
自然歩道があ
り、往復約1
時間で行くこ
とができます。履きなれたスニーカー
でも登ることができるハイキングコー
スです。
360度の大パノラマを楽しみにせ
ひお出かけください。
▼商工観光課
☎23局3522 FAX22局3817
http://www.city.tahara.aich.jp/



今月の花

レイトのコレいいね 5

農政課 ☎23局3517

◎ビクトリーブーケがつなぐ思い

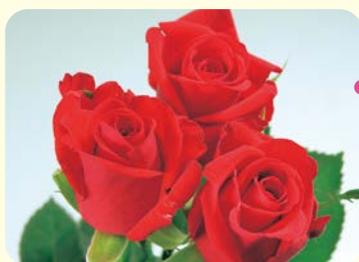


9月7日(日)に行われたトライアスロン伊良湖大会において、田原市のキクを中心としたビクトリーブーケが入賞者に贈られました。今大会では初の取組として、トライアスロンに出場した方のご家族の方などから、ビクトリーブーケを贈るというイベントを行いました。ご家族や友人などから贈られたブーケを手に、ゴールを喜ぶ姿は心温まる光景となりました。

また、9月10日(水)~14日(日)にモリコロパークで行われた国際ジュニアグランプリフィギュアスケート競技大会においても、ビクトリーブーケが贈られました。国際大会の場で、田原市の花のPRを行うことができました。また、次世代のフィギュアスケーターの活躍を願うブーケともなりました。



10月の 渥美半島の花と鉢花



バラ
(花/出荷時期:通年)

花ことば
熱烈な愛、情熱

イギリス国花として有名で、県内2位の生産量、約1,300万本出荷されています。



ポットマム
(鉢花/出荷時期:9月~11月)

花ことば
高潔なる愛

鉢植えの洋菊のことで、県内1位の生産量、約28万鉢出荷されています。



▲潮干狩りなどで地域住民に親しまれている弁財ヶ浜



▲レンゲ田を復活させように行った種まき

地域の話題

清田校区

次世代の子どもたちへ引き継ぎたいもの

今年度から新たな環境保全事業に挑戦を始めた
清田校区コミュニティ協議会から
お便りが届きました。



清田

校区では、今年度、新しく2つの取り組みを始めました。校区まちづくり推進計画の中で主要施策としている、里山づくり「レンゲ田」の実現と、海浜公園「弁財ヶ浜」の整備です。

なつかしいレンゲ田の復活

私たちが子どものころ、田んぼにはレンゲの花がきれいに咲いていました。それが近ごろでは見られなくなつたことから、「子どもたちにもレンゲの花咲く田んぼを見せてあげたい」という思いを込め、レンゲ田を整備することとしました。

これは、稲刈後の田に景観作物であるレンゲの種をまき、花を咲かせるものです。子どもたちと高齢者がレンゲの種まきをすることで、次世代の子



もたちが農業にふれ親しむ機会を設けます。そして、この地域に愛着を持ち、住み続けたいと思えるような環境づくりにつなげます。

地元の財産「弁財ヶ浜」

古田町の海岸は、弁財天がまつられていたため、古くから「べさい」といわれ、人々に親しまれてきました。現在でも、地域住民が潮干狩りや釣りに訪れるなど親睦の場となっています。また、夕日が美しく映え、冬の晴れた日には南アルプスや富士山を望むこともできます。

しかし、新しく堤防道路ができて旧堤防道路は使われなくなり、がけから土砂が流出したり、木々がうつそうとし、ごみが捨てられたりしています。そこで今年度、浜周辺の自然が再



び地域の憩いの場所となるよう活動組織を立ち上げ、伸びすぎた枝を払い、ごみを片付けるなど整備を進めてきました。



▲弁財ヶ浜の環境整備

また、来年度事業として市の制度である市民提案型委託事業へ申請をしました。環境整備や散策道・避難道の整備を行うほか、土砂の流出を防ぐため、ユリノキを子どもたちや高齢者で植える計画をしました。市と連携し、地域でできることは地域で整備をしていきたいと考えています。

「身近なところこそ、幸せが宿る。地域のみんなを取り囲む環境こそ、大切」と考え、地域に誇りや愛着を持つよう、また、子どもたちがこの地域で住み続けたいと思えるような校区にしていきたいです。



市民活動を応援するページ



イベント紹介

第5回女性会議ウィットWIT講座

「潮風の村から～ある女性医師の軌跡～」映画鑑賞会

●平成26年度市民協働まちづくり事業補助金採択事業

「潮風」の村から～ある女性医師の軌跡～は、田原市在住の女性医師 北山郁子さんの人生を追ったドキュメンタリー映画です。高齢期のハッピーの鍵を映画のリテラシーによって探りましょう。映画から見る“社会と切れる”ということ。映画から地域社会の問題を考える講座です。

映画鑑賞後、映画監督 山上千恵子さんといっしょにお話会を行います。

日時◎ 11/15 14:00～16:00

場所◎ 田原市福祉センター 3階 大会議室

定員◎ 30名 (先着順)

参加料◎ 300円 (お茶と資料代)

申し込み◎ 11/10 までに電話またはEメールにて (Eメールの場合は、氏名、連絡先 [電話番号・メールアドレスなど] を明記)

主催◎ 女性会議ウィットWIT

申し込み・問い合わせ◎ ☎090-3564-7737 (加子)

✉info@fpkako.com



▲第3回講座の様子

市民活動紹介

東三河市民活動情報サイト どすごいネット

『どすごいネット』とは、田原市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市の5つの市が東三河地域の市民活動を推進するためにつくった、市民活動情報サイトです。

東三河で主に活動するNPO、ボランティアグループの一覧や、ボランティア募集情報、団体のイベント情報、助成金情報などを見ることができます。

市民活動やボランティアに参加してみたい個人の方から、団体の活動をもっと充実させたいという団体の方まで、どなたでもご利用できます。

市民活動団体の皆さんが、どすごいネットに団体登録していただくと、団体の情報やイベントの告知、チラシなどを掲載することができます。どすごいネットへの登録は無料です。

ぜひ、どすごいネットをご覧ください。

☞ <http://genki365.net/gnkh02/pub/index.php>



▲力を合わせて東三河の市民活動を応援し、人々のきずなを守る戦士「どすごいレンジャー」

田原市民活動支援センター

☞ <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線 812) ※開設時間のみ

☎ 23局 0180 ☎ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

SCHOOL REPORT 73

学校生活の
一コマを紹介

今回は、「小学校水泳大会」と「中学校総合体育大会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

小学校水泳大会

声援を受け、力泳！

7月19日(土)、「田原市小学校水泳大会」が開催されました。田原市の全小学校20校が、田原中部小学校と衣笠小学校の2会場に分かれ、学年別に、背泳ぎ、平泳ぎ、自由形、リレーの種目で、記録を競い合いました。時折雨が降り、水泳をするには少し肌寒い日でしたが、たくさんの参観者の声援を受け、どの選手も、精一杯の泳ぎをしていました。



●小学校水泳大会で力泳する選手たち



中学校総合体育大会

各会場で繰り広げられた熱い戦い、そして熱い応援

7月5日(土)、6日(日)、12日(土)の3日間、田原市内8会場で、「田原市中学校総合体育大会」が開催され、軟式野球、バレーボール、バスケットボール、剣道、ソフトテニス、卓球、ソフトボールの7種目の競技が行われました。

バレーボール競技が行われた渥美運動公園屋内競技場では、必死でボールをつなぐ選手の気迫や、声を合わせ応援する生徒の声で、会場全体が熱気に包まれていました。得点が入るたびに、選手同士が声を掛け、励まし合う姿が印象的でした。

滝頭公園野球場と渥美運動公園野球場では、軟式野球競技が行われました。一球一球に集中し、着実なプレーをしている生徒たちの姿に、日々の練習の成果が表れていました。また、ベースランニングや攻守交代で全力疾走する姿は、清々しいものでした。

8月3日(日)には、白谷海浜公園陸上競技場で、陸上競技の部が行われ、各校の選手が順位と記録を競い合いました。当日は、風がほとんどなく、気温もあまり高くならなかったため、陸上競技には最適な日となりました。リレー種目で2つの大会新記録が生まれるなど、好記録が続出しました。

中学校総合体育大会は、3年生にとっては、約2年半取り組んできた部活動の集大成となる大会であり、どの会場でも、熱い戦いが繰り広げられました。

各種目の優勝校(団体の部)は、以下のとおりでした。



●中学校総合体育大会で、熱戦を繰り広げる選手たち



- 【軟式野球】田原中
- 【バレーボール】男子:赤羽根中、女子:泉中
- 【バスケットボール】男子:田原中、女子:東部中
- 【剣道】男子:田原中、女子:田原中
- 【ソフトテニス】男子:田原中、女子:東部中
- 【卓球】男子:福江中、女子:福江中
- 【ソフトボール】赤羽根中
- 【陸上競技】男子:東部中、女子:田原中

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。

光浦靖子^{やすこ}さん (田原町出身)・東京都在住 タレント (オアシズ)

●田原中部小学校・田原中学校・成章高校卒業。東京外語大学在学中に幼なじみの大久保佳代子さんとお笑いコンビ「オアシズ」を結成し、1992年にメジャーデビュー。数々のバラエティ番組に出演する一方で、エッセイやコラムなど執筆活動も盛ん。小さいころから手先が器用で手芸好きだったが、7年前に羊毛フェルトに出会い、ブローチを作るようになる。現在2冊目の手芸本を発売するなど、多方面で才能を発揮している。

◆9月20日(土) 田原市図書館トークイベント&手芸教室
「光浦さんのウラ時間～本とブローチと大人のひとり時間～」
のために、帰郷された光浦さんにお話をお伺いしました。

人嫌いを直そうと飛び込んだ世界

— お笑い芸人になったきっかけ？

【光浦さん】 就職活動をする時期に、社会に出るのが怖くて、それを克服するために、大久保さんを誘って漫才のオーディションを受けました。人前でしゃべるといって一番きつい体験をすれば、シヨック療法で人としゃべることが平気になるのではと思ったのです。

— 仕事で辛い時、どう乗り越える？

【光浦さん】 どんずべりしたときは、本当につらい。でもそのことで自分が強くなれると信じています。

— 仕事への思い、これから

【光浦さん】 仕事は、今まで1度も満足した結果を出せたことがないなあ。今までは仕事さえうまくいけばいいと思っていただけ、これからは人としても豊かにならなければいけないと思っています。あと、外国に住んでみたい。異文化の中に自分を置いてみたい。英語を習得して、地球上を自由に動き回れたらなあと思っています。

— 田原市のイメージは？

【光浦さん】 高校生の時、田原は何もないと思っていたので、都会に出たかった。都会に出ていろいろ知りたいと思っていた。大人になった今は、帰ってくる、学園祭のようなノリで集まってくる仲間がいる田原が好きです。田原の人は面白いと思う。田原の風土がよかったのか、私がよかったのか(笑) 友達に恵まれました。

— 田原市の子ども達へメッセージを

【光浦さん】 人に合わせなくていいよ。自分は自分でいいんだよ。

手芸教室に参加して

光浦さんの羊毛フェルト手芸教室に参加してきました。羊毛フェルトとは、フェルティングニードルという専用の針でチクチクと刺すことにより羊毛の繊維がからまってフェルト化する羊毛のことです。初めての体験でしたが、光浦さんが親しみやすく、丁寧に教えてくれて初心者の私でもなんとか作ることができました。とても楽しい時間を過ごすことができ、光浦さんをはじめスタッフの方には感謝しています。

▶参加者の初めての作品



●トークショー



●手芸教室



広報サポーター
片桐純子
(田原中部校区)



広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

101

蔵王山展望台から新エネルギー施設群を眺めてみよう！



皆さんは、リネューアルオープンした蔵王山展望台に行きましたか？老若男女が楽しめる新たな観光拠点施設となりましたが、この展望台は観光拠点としてだけでなく、もう一つ再生可能エネルギーのシンボル施設としての重要な役割があります。

4階の展望室からは、臨海エリアに広がる風力発電所やメガソーラーといった新エネルギー施設を眺めることができます。風力発電所とメガソーラーが同じエリアに集積しているのは全国的にも珍しい光景です。

年間を通じて安定した強い半島性の風が吹き、日射量も全国トップレベルである田原市の特徴を生かした新エネルギー施設の建設推進は、たはらエコ・ガーデンシティ構想に基づくものです。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2663人・事業所99カ所(9月末現在)

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



ごみ減量化の一環として平成21年度からレジ袋を有料化しています。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。



平成25年度の成果

●レジ袋購入辞退率 87・6%

●レジ袋削減枚数493万3762枚

↓ごみ量4万8844kgの削減

(L判のレジ袋1枚を9・9gとして計算)田原市の家庭43世帯が1年間に出すごみの量に相当します。

レジ袋削減から始めるごみ減量

ごみ減量に最も効果的な方法は、ごみを出さないことです。有料化によりレジ袋をもらいすぎない消費行動が、ごみになるものを買わない、もらわない心がけにつながります。

▶レジ袋を「内袋」として使う場合は、必要な分だけ！

生ごみや個人情報記載してあるごみを入れる内袋としてレジ袋を使う人も多いですが、もやせるごみの中には、そのまま捨てられているレジ袋も多く含まれています。レジ袋



レジ袋削減協定締結店舗

イオン田原店・酒蔵トウカイ、ジツ
ブドラッグ赤石店・田原赤石薬局・
赤羽根店・渥美薬局、スギ薬局田原
店、スーパーカネイチ、田原コープ
(株)磯田園・フレッシュミート、田原
めつくんはうす、パワーズ田原店、
フードオアシスあつみ田原店・福江
店、ヤマナカ田原店

※有料化によるレジ袋削減の趣旨をご理解いただき、参加を希望される事業者を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

レジ袋の削減は、意識次第で実践できる身近なエコの一つです。皆さんも、マイバックでの買い物を始め、みてはいかががでしょうか。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

●「景観をつくる要素」

前回、「景観を読むコツ」を題材としましたが、皆さんは田原市のいろいろな景観を読んでみましたか？今回は、「景観をつくる要素」についてお話しします。

田原市の景観は、三河湾の静かな海と太平洋の雄大な海岸、市内のいたる所から目にできる山々、大きく広がりのある農地、そして、市街地や農漁村の集落における街並みなどがあります。



こうして景観の特徴をあげると、たくさんの要素で構成されていることがわかります。キーワードとして、「海」「山」「農地」「街並み」が出てきました。ほかにも、地域固有の歴史や先人たちが築いてきた文化そのもの

が、その地域の景観をつくる要素にもなります。景観は、実際に目に見える色や形だけでなく、五感を通して感じる全ての要素が集まってできていますね。

では、「街並み」にスポットを当てて考えてみましょう。田原市の「街並み」はどのような要素で構成されているのでしょうか？一般的にいえることは、皆さんがお住まいの家や商店、広告物、公共施設などでその地域の街並みが構成されています。前回の「景観を読むコツ」と「景観をつくる要素」を合わせ、じっくりと田原市の景観を眺めてみてはいかがでしょうか？

田原市の景観特性を取りまとめた内容は、市のホームページでご覧になることができます。

☞ <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/machidukuri/keikankeikaku.html>



個人や家族で、いざというときへの備えをしておくことは重要ですが、それだけでは限界があります。自主防災会や地区・校区の皆さんが協力して行動することで、すぐに安否確認・避難誘導・救出活動を行えるなど、被害を最小限にとどめることができます。皆さんも

◆自主防災会とは
近所・地域の人が協力し合い、「みんなの地域はみんなで守る」という地域の防災活動を効果的に行うための自主的な防災組織です。この訓練は、災害に強い地域づくりを目的に毎年実施されています。

◆協力し合って被害を最小限に
自主防災会が主催する防災訓練が、市内の各集会所などで一斉に実施されます。この訓練は、地域の実情に合わせて、地域ぐるみで行われるものです。



防災知恵袋 7

自主防災会の一斉防災訓練に参加しよう

みんなで取り組む防災・減災

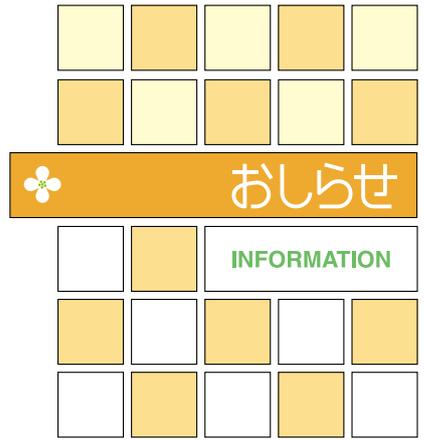


訓練に参加して、自分の役割やとるべき行動などを確認しましょう。

田原市自主防災会一斉防災訓練
▼日時 11月8日(土) 午前7時～9時ごろ
※地区によって終了時間が異なります。
▼訓練開始 11月8日(土) 午前7時、市内放送用スピーカーから、訓練開始の放送が流れます。
▼避難方法 11月8日(土) 午前7時、非常持出袋を持って各地区の集合場所に徒歩で避難しましょう。安否確認後は、各地区それぞれの訓練に参加しましょう。



▼防災対策課 ☎23局3548
☞ <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



おしらせ

INFORMATION

委員

MEMBER OF COMMITTEE

人権擁護委員

岩本博志^{ひろし}さん（豊島町）と三浦教宏^{のりひろ}さん（浦町）が新しい人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。任期は平成29年9月30日まで3年間です。

▼地域福祉課

☎ 23局3512 FAX 23局3545



募集

WANTED

キンボールスポーツ大会

▼対象Ⅱジュニアの部（小学5～6年生）・一般の部（中学生以上）／各1チーム4名以上6名以内（男女混合が望ましい） ▼日時Ⅱ11月29日（土）午後1時～ ▼場所Ⅱ渥美運動公園屋内競技場 ▼参加料Ⅱ無料
▼申し込みⅡ11月7日（金）までに、スポーツ課、田原文化会館、赤羽根文化会館、渥美運動公園、各市民館にある申込用紙に必要事項を記入のうえ申込用紙設置施設に直接提出 ※詳しくはお問い合わせください。
▼スポーツ課
☎ 23局3531 FAX 22局3811

消防設備士 試験

▼対象Ⅱ一般 ▼試験日Ⅱ11月30日（日） ▼場所Ⅱ名古屋工学院専門学校 ▼種類Ⅱ甲種特類を含む甲種全類・乙種全類 ▼申し込みⅡ【書面申請】10月20日（月）～29日（水）の期間に消防課窓口または消防署・各

田原市博物館講座 「田原の歴史探訪」受講者

▼日時・内容Ⅱ表のとおり
▼場所Ⅱ田原市博物館研修室 ▼定員Ⅱ40名（原則3回の講座に出席できる方を優先）
▼申し込みⅡ11月7日（金）までに、電話、FAXまたはEメールにて（FAX・Eメールの場合は住所・氏名・年齢・電話番号を明記）
▼田原市博物館
☎ 22局1720 FAX 22局2028
✉ museum@city.tahara.aichi.jp

日時	内容／講師
11月30日 日 13:30～15:00	「生誕250年 郷土の先人 糟谷磯丸の魅力」/天野敏規(学芸員)
12月6日 土 13:30～15:00	「明治から昭和の田原町中心部の移りかわり」/鈴木利昌(副館長)
1月12日 日 13:30～15:00	「戦前戦後をめぐる渥美線」/木村洋介(学芸員補)

吉胡貝塚資料館 秋・冬の体験講座 受講者

▼小学校4年生以上 ▼日時／講座名／内容／受講料Ⅱ表のとおり
▼定員Ⅱ各20名（先着順） ▼申し込みⅡ電話またはEメールにて（Eメールの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号を明記）
▼吉胡貝塚資料館
☎ 22局8060 FAX 22局8070
✉ yoshigo@city.tahara.aichi.jp

吉胡貝塚資料館 秋・冬の体験講座

日時	講座名	内容	受講料
11/23 日祝 13:00～16:00	どんぐりでクッキーをつくろう！	どんぐりをすりつぶしてクッキーを作ります。	100円
12/7 日 10:00～15:00	野山のつるでかごをつくろう！	野山に生えるつるを取りに行き、素朴なかごづくりを行います。	300円

東三河人にやさしい街づくり講座・セミナー

▼日時＝11月29日(土)【セミナー】午前10時～午後1時【講座】午後1時～4時まで ▼場所＝豊橋市カリオンビル6階多目的ホール ▼内容＝【テーマ】安心して暮らせる街とは【セミナー】車いすなどを使って、障害者と共に街歩きをします。【講座】街づくりに関する講演・セミナーでの体験をもとに、すべての人が安心して暮らせる街づくりを考えます。▼定員＝50名(講座のみの受講も可能)▼受講料＝無料(昼食は各自)▼申し込み＝電話、FAXまたはEメールにて(FAX、Eメールの場合は住所・氏名・年齢・電話番号を明記)▼建築課

☎23局3526 FAX22局3811
✉kentiku@city.tahara.aichi.jp

生活

11月は子ども・若者育成支援 県民運動強調月間です

育てよう 自分で勝てる子 負けない子 不登校やひきこもり、ニートなど社

会生活を送ることが困難な子ども・若者の問題を解決するには、関係機関や人々がネットワークを形成して支援を行っていくことが必要です。このため愛知県では、11月を「子ども・若者育成支援県民運動強調月間」と定め、子ども・若者育成支援に対する理解を深めるため、さまざまな事業を実施します。※詳しくはホームページをご覧ください。

▼文化生涯学習課

☎23局3635 FAX23局3811

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>

自転車の駐車マナーを守りましょう

11月は放置自転車クリーンキャンペーン月間です

通勤や通学などの足として欠かせない「自転車」。他の交通機関への乗換時には所定の駐輪場をご利用いただくとともに、駐車したまま長期間放置することのないようお願いいたします。キャンペーン期間中、駅周辺などの放置自転車の整理を実施します。放置自転車減少に、ご理解とご協力をお願いします。

▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

絵本を通して親子で食育「もぐもぐおはなし会」

いろいろなものを「食べる」大切さをテーマに、絵本の読み聞かせを行います。お子さんと一緒に楽しく食育を感じてみませんか。▼対象＝乳幼児とその保護者 ▼日時＝11月5日(水)午前10時30分～11時 ▼場所＝中央図書館おはなしのへや ▼内容＝「はらぺこあおむし」の大型絵本とパペットを使ったおはなし ▼申し込み＝不要/直接会場にお越しください。

▼農政課

☎23局3517 FAX22局3817

うつ病家族セミナーを開催します

病気への理解を深め、支援方法を学ぶため、うつ病家族セミナーを開催します。

▼対象＝うつ病で治療中の方の家族 ▼日時/場所/内容＝表のとおり ▼定員＝いずれも30名(先着順) ▼参加料＝無料 ▼申し込み＝電話またはFAXにて(FAXの場合は、参加希望日・住所・氏名・電話番号を明記) ※詳しくはお問い合わせください。

うつ病家族セミナー

日時	場所	内容
11/17月 12:30～13:50	豊川市総合体育館	講話「うつ病を知ろう」 講師:きくちメンタルクリニック 院長 菊池勤医師
12/1月 14:00～15:30	豊川市総合体育館	講話「うつ病の回復に向けて」 講師:きくちメンタルクリニック 看護師 梅田憲太郎氏 臨床心理士 五十嵐和佳子氏
12/16火 13:30～15:30	豊川保健所	家族グループワーク 「困っていることを話し合おう」

▼豊川保健所健康支援課

☎(0533)86局3626
FAX(0533)89局6758

寄付

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼8月26日、田原市医師会様から小中学校の学校保健向上・児童生徒の健康保持のため、パルスオキシメーター27台。

渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36局6503

渥美郡11町村から 昭和の大合併を経て3町へ

昭和20年代後半の地方財政は危機的な状況を呈していました。豊橋市と渥美郡11町村（二川町・高豊村・老津村・杉山村・神戸村・田原町・野田村・赤羽根村・泉村・福江町・伊良湖岬村）からなる渥美半島もその例外ではありませんでした。

政府は地方財政の健全化を図るため、昭和28年（1953）に「町村合併促進法」を公布し、市町村の適正規模（人口8000人以上）への合併政策を押し進めました。

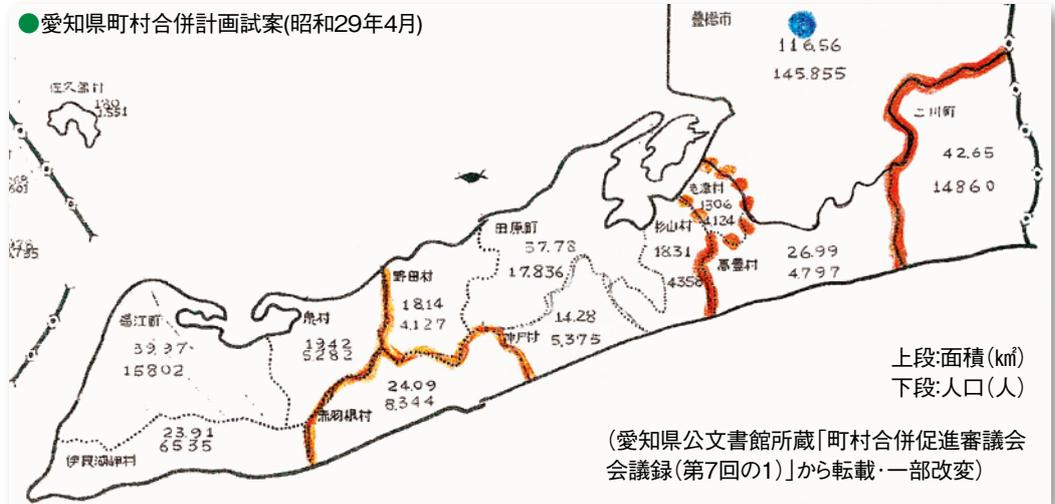
愛知県でも、県町村合併促進審議会を設置し、昭和29年4月に「愛知県町村合併計画試案」を策定しました。その試案の渥美郡の項には、田原町・神戸村・野田村・杉山村の4町村新設合併、福江町・泉村・伊良湖岬村の3町村新設合併、高豊村の豊橋市への編入合併、老津村は審議中、二川町と赤羽根村は一町村単独存立とする案が提示されました。

田原町・野田村・神戸村の3町村は、昭和29年3月の時点で合併に向けておおむね合意が得られていました。一方、杉山村は豊橋市との合併を求める大字杉山地区と田原町との合併を求める大字六連地区との意見が対立していました。

あくまでも杉山村を含めた4町村の合併を模索していた3町村でしたが、まずは3町村で合併協議を始め、昭和30年1月1日、田原町・神戸村・野田村の3町村が合併し、新田原町が誕生しました。

同年3月1日には、渥美郡二川町・高豊村・老津村の3町村は、他の2村（宝飯郡前芝村、八名郡石巻村）と共に、豊橋市に編入合併されました。一方、混乱を極めた杉山村は、県

●愛知県町村合併計画試案(昭和29年4月)



審議会から示された杉山地区は豊橋市に、六連地区は田原町に分村合併するという勧奨を受け入れ、同年4月1日に、それぞれの市町に編入合

併されました。

同年4月15日には、泉村・福江町・伊良湖岬村の3町村が新設合併し、「渥美町」が誕生しました。

赤羽根村は合併することなく単独で村制を維持し、昭和33年3月の村議会で町制への移行を確認しました。次いで田原町から合併の申し入れがありましたが、赤羽根村の世論は合併の時期尚早と判断し、単独で町制施行を目指す道を選択し、同年11月1日に「赤羽根町」となりました。

昭和20年代の「渥美郡11町村」は、昭和の大合併により、田原町・赤羽根町・渥美町の3町に縮小・統一されたのです。

（執筆委員・葉山茂生）

今月の「表紙」

▼平成6年の完成から20年目にあたる今年、蔵王山展望台がリニューアルオープンしました。新たな施設では昼と夜、それぞれ異なる魅力があり、お子さんから年配の方まで幅広く楽しんでいただけます。今後、市内外から多くの皆さんが訪れ、渥美半島の魅力を感じていただける施設となることを願って。(H)

【表紙の写真】蔵王山展望台のイルミネーション